



宇津木台 森遊会 実施報告

「第6回定例活動」

No.2016-06

実施日	2016年9月25日(日) 10:00~13:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 4名(女性1、男性3) 田原、中野、矢島、神宮、 インストラクター: 金森		

実施内容

活動6年目の第六回目。今年の9月は記録的な雨続き、貴重な晴れの日、しかし、気温と湿度は高い。久々に緑地全体を観察しながら今後の整備箇所を考えることにした。合わせて巣箱を掃除する。

腕章、双眼鏡、蚊取り線香、そして借用した脚立を持って出発、巣箱の巣材は12か所中6か所で確認できた。2箇所はアリの巣と化しており開けた途端大量の蟻が出てきた。山ゴキブリや孵らなかつたシジュウカラの卵も確認できた。巣材の一か所は中学生が参加した際の観察用にそのままとした。

巣箱の位置や向きと巣材の有無を考察してみたが規則はないようだ。昨年の巣材があった巣箱に今年はない、その逆もあり、野鳥の気まぐれなのか、何かの要因があるのか、自然は奥が深い。

緑地の端(八高線線路際)まで注意深く歩いてみる。改めて広い緑地であることを実感する。

これまでの整備箇所(テニスコート裏、滑走路、ステージ、水辺、北側丘陵、竹林)は現状を維持しつつ、滑走路奥の笹エリア、コンサートステージの上部斜面に手をつけてはどうだろうか。

脚立を水洗いして、道具を片づけて解散とした。次回は、涼しく、蜂の被害もないことを期待して伐採作業を行う。



腕章、双眼鏡、蚊取り線香



12個ある巣箱をチェック



半分の6個で巣材を確認



アリの巣になったもの2個



孵らなかつた卵



久々に緑地の東側端まで歩く



コナラが倒れ広場になった場所



八高線の線路までが緑地



水辺の監視は継続中



ウチワタケが今年も大量



竹林は草が生い茂り蜂がいる



脚立を洗って終了

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。